



校長だより

日中丸



第6号
H30. 6. 1

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

キャリア教育学習会 5.30(水)

日間賀島の子どもたちは、自分の住んでいる日間賀島が大好きです。好きなどころはと問うと、「自然が多く残っているから」「人が優しいから」「人が集まる行事が元気に行われているから」「魚がたくさんとれるから」などの答が返ってきます。また、小学生のころから日間賀島の漁業や観光について学んできました。そこで、6月27日(水)～29日(金)行われる修学旅行では、キャリア教育の一環として、自分たちの大好きな日間賀島の魅力を多くの人に知ってもらうため、さらには、島の将来を担う資質を育成するため、東京駅でPR活動を行うことにしました。

5月30日(水)には、外部から講師をお招きして、島の現状やこれまでの取組についてお話していただきました。また、一緒に参加して下さった方からのお話も聞きました。島民の方のこれまでのご努力やご苦労にふれ、日間賀島のことが益々好きになったようです。同時に、PR活動など自分たちにできることへの意識も高まったようです。



【学習後の生徒の感想（抜粋）】

日間賀島は昔、知名度が低かったんだということを聞いて、びっくりしました。知名度が上がるために、たこやふぐのPRなどを新しいことをたくさんしたこと、びっくりしました。

これからは、いろいろなことに挑戦して、今より地元を好きになりたいと思います。(田中翔也さん)

僕は、お話を聞いて、ますます日間賀が好きになりました。また、日間賀の将来が心配にもなりました。なぜかという、島の人口が減っており、1人出ていくと、7人お客さんを呼ばないといけないと聞いたからです。みんなが出ていかないような島になるといいと思います。(北川琳都さん)

いろいろな資料を見ると、まだまだ知らないことばかりでした。少しでも有名になるためにたくさん努力してきたのだと思うと、「すごいな」と思いました。昔の人がつくってくれた日間賀島を、今度は、私たちが守っていきたいです。そして、たくさんの人に日間賀島のことを知ってもらいたいです。

(坂口あずささん)

私たちが生まれていない時代のことを知ることができて、また一つ日間賀のことを知ることができました。たくさんの企画や工夫があつて今の日間賀があることを知りました。これからは、私たちが日間賀の問題を解決していけたらと思います。

(鈴木歩乃香さん)

日間賀地区青少年を守る会

日間賀島には、「日間賀地区青少年を守る会」という組織があります。会の目的は、「日間賀地区に居住するすべての青少年の生活環境をよくし、非行と交通禍および水禍を防止し、青少年の健全育成を図ること」です。

5月28日（月）には総会が行われ、30年度の活動が本格的にスタートしました。また、翌日の29日（火）には、環境部のみなさんによる花の苗の植替を行いました。島内各所においてあるプランターの花を植え替えました。日間賀島が花のあるすてきな島になるよう、取り組んでいただきました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



朝会より 5.28(月)

生徒発表（5月のテーマ：学校生活について）

北川竜盛さん（1年）

僕は、今の学校生活はとても楽しいと思っています。特に勉強が楽しいです。勉強は、先生がおもしろいし、まだ簡単なのでいいです。小学校のころは家であまり勉強をやっていたので、中学校ではテストもあるのでしっかり復習してがんばりたいです。

しかし、中学校のことはまだ知らないことが多いので、一つ一つ覚えていきたいです。校歌も、まだ、1番を覚えているかいないかくらいなので、まずは勉強より中学校の校歌についてもっと知りたいです。

中学校と小学校はいろいろなことが変わるし、小学校よりも厳しくなるので、授業中の態度をしっかりと、先生の話が理解できるように一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

鈴木太陽さん（3年）

僕が学校生活について思うことは、2年生と変わらないなあということです。別に、自分自身は変わらなくていいので、これからも変わらない学校生活を過ごしていきたいです。

しかし、受験生になったので、勉強には力を入れていきたいです。テスト週間の1週間前くらいからは、勉強したいと思います。

新井聖人先生の話

今月のテーマが「学校生活」ということで、私も小学校や中学校生活を振り返ってみました。楽しかったことは何かと考えたとき、放課中に友達と話すことや体育のソフトボールなどが楽しかったです。そんな中で一番は何かと考えると、それは朝読の時間でした。朝読はみんなが静かに集中して本を読むことができ、本の世界に集中できるからです。また、みんなが静かに集中する雰囲気も好きでした。

ぜひ、みなさんも朝読の時間を大切に、本に集中してください。また、おもしろい本があれば、私に教えてください。

こんな話をしてくれました。

